

第Ⅳ期 第12回 国立天文台科学戦略委員会議事抄録

日時：2025年9月19日（金） 13時00分～13時45分

場所：国立天文台大会議室、Zoom

出席者：

（台外）秋山正幸委員、高橋慶太郎委員（Zoom）、濤崎智佳委員（Zoom）、戸谷友則委員（Zoom）、堀田英之委員（Zoom）、渡邊誠一郎委員（Zoom）

（台内）井口聖委員（Zoom）、生駒大洋委員、齋藤正雄委員、都丸隆行委員（Zoom）、竝木則行委員、藤井友香委員（副委員長）、本原顕太郎委員（委員長）、吉田道利委員

欠席者：

（台外）石原安野委員、高田昌広委員

陪席：

（台外）運営会議：河野孝太郎委員、住貴宏委員（Zoom）

（台内）堀久仁子特任専門員、金子修研究推進課長、大内香織研究支援係長

1. 確認

1.1 国立天文台科学戦略委員会名簿および出席者確認

本原委員長から、出席者の確認を行った。

1.2 第11回議事抄録の確認

本原委員長から、8月21日に開催された第11回国立天文台科学戦略委員会の議事抄録（案）について説明があり、承認された。

2. 報告と議論

2.1 運営会議(2025/9/17)報告

吉田委員から、9月17日開催の国立天文台運営会議における本委員会報告と質疑応答の内容について報告があった。また、タウンミーティングで説明を行う資料について承認された旨の報告があった。

2.2 2025年度将来シンポジウムについて

2.2.1 講演依頼について

本原委員長から、各コミュニティ団体に将来計画の検討状況及びサイエンスロードマップ（SRM）原案へのフィードバックを内容とする講演依頼を行うとの説明があった。

また、国立天文台の運営費交付金プロジェクトからの発表は行わず、実施計画を進める上で必要な情報として各センター等（先端技術センター：ATC、天文データセンター：ADC、天文情報センター：PRC、天文シミュレーションプロジェクト：CfCA、科学研究部）に将来構想の発表をしてもらうとの提案があり、承認された。

講演依頼にあたっては委員長が依頼文を作成し、本委員会に内容を照会した上で9月中に依頼を行うこととした。

また、将来シンポジウムのプログラム原案及び開催期間（12月2日～12月4日）につい

ても 9 月中にアナウンスを行うこととした。

(主な意見交換)

ーこれまで予定していた現行の運営費交付金プロジェクトの講演は行わず、ATC、ADC、PRC に加え CfCA と科学研究部から将来の実施計画を進める上で必要な情報を発表してもらうこととしたい。

ーCfCA 自身も提案書を出している。その提案と講演内容はどのような切り分けとなるのか。

ー国立天文台執行部との意見交換の結果、物価高になっている中でスパコンなどのインフラをどの様に維持し、将来的に整備していくのかの展望を聞いておく必要があり、別建てで話を聞くのが良いということになった。

ー現在の CfCA の位置付けはプロジェクトなのか共同利用の施設なのかの線引きが出来ておらず、国立天文台としてよく考える必要があるのではないかと。

ー共同利用の施設であると考えている。ここで ATC などと並べてみて、国立天文台の中で CfCA がどうあるべきかを改めて皆さんと考えるというのも良いのではないかと。

2.3 タウンミーティング

2.3.1 プレゼン資料最終案の確認

本原委員長から、9 月 22 日と 10 月 1 日に開催するタウンミーティングの資料について説明があり、各委員も出来る限り参加するよう要請があった。

2.4 実施計画の策定手続きの検討状況

齋藤委員から、国立天文台内での実施計画の策定手続きの検討状況について報告があり、次回委員会までに議論をまとめ、資料を用意して説明することとした。

以上